

ガイダンス

1. 講義の予定

04月12日（水）	第1回目	ガイダンス
04月19日（水）	第2回目	小学児童による教室内の温熱環境評価に関する研究
04月26日（水）	第3回目	九州における身近な地熱利用に関する研究
05月03日（水・祝）	祝日のため	講義なし
05月10日（水）	第4回目	研究の枠組みをどのように組み立てるか
05月17日（水）	第5回目	研究MAPをどのように作成するか
05月24日（水）	第6回目	研究計画をどのように作成するか
05月31日（水）	第7回目	研究発表をどのように組み立てるか
06月07日（水）	第8回目	「建築環境工学」から「建築環境学」へ-建築環境工学の新しい研究手法を考えられないか-
06月14日（水）	第9回目	気候風土の観点からみた近代日本における企業の社宅街に関する研究-地方都市との関係-
06月21日（水）	第10回目	気候風土の観点からみた近代日本における企業の社宅街に関する研究-寒冷地と暑熱地との関係-
06月28日（水）	第11回目	地域の違い、地図の違い
07月05日（水）	第12回目	エネルギーの有効利用 パッシブとアクティブ（その1）
07月12日（水）	第13回目	エネルギーの有効利用 パッシブとアクティブ（その2）
07月19日（水）	第14回目	エネルギーの有効利用 パッシブとアクティブ（その3）
07月26日（水）	第15回目	エネルギーの有効利用 パッシブとアクティブ（その4）

注1) 上記のスケジュールは、あくまで予定です。検討を加えた結果、予定が大幅に変更になることもあります。

注2) 講義のねらいは、以下の通りです。

- ・講義の前半では、講義内容に関連する辻原のこれまでの研究を紹介しながら、研究の進め方（実際の進み具合やスケジュールなども含めて）についても焦点を当てる予定です。
- ・講義の後半では、自然エネルギーを利用したパッシブな建築の設計について、受講者全員で共に考えながら、学びましょう。

注3) スケジュールの変更やその他の連絡事項は、主として講義中に口頭で伝達するつもりですので、欠席した場合は、各自で友人などに確認して下さい。できるだけ掲示もするように

しますが、講義中の伝達内容の方が優先順位は高いと考えて下さい。なお、今後の e-mail のやり取りを円滑に行うために、本講義の受講希望者は、辻原宛に、所属研究室名、学籍番号、氏名、e-mail アドレス、を e-mail で送付してください。

2. 教科書・参考図書（順に、書名、編著者名、発行所、発行年月、税込価格、ISBN 番号、熊本県立大学学術情報メディアセンター図書館所蔵情報（[] 内）。以下同様。）

教科書：

- [1] 『設計のための建築環境学 みつける・つくるバイオクライマティックデザイン』（日本建築学会編，彰国社，2011年5月，2,400円＋税，ISBN:978-4-395-00894-0）〔和書（2F），525.1||N 77, 0000342850〕

参考書：

- [2] 『自然エネルギー利用のためのパッシブ建築設計手法事典 新訂版』（彰国社編，彰国社，2000年7月，2,800円＋税，ISBN:4-395-11095-9）〔和書（2F），528.2||Sh 96, 0000253535〕
〔シラバス環境（3F），528.2||Sh 96, 0000251719〕
- [3] 『民家の自然エネルギー技術』（木村健一編，彰国社，1999年3月，4,381円＋税，ISBN:4-395-00521-7）〔和書（2F），528||Ki 39, 0000221516, 0000250749〕〔シラバス環境（3F），528||Ki 39, 0000221515〕
- [4] 『環境工学教科書 第二版』（環境工学教科書研究会編著，彰国社，2000年8月，3,500円＋税，ISBN:4-395-00516-0）〔和書（2F），525.1||Ka 56, 0000275620, 0000308034〕
- [5] 『最新 建築設備工学』（田中俊六監修，井上書院，2002年9月，3,200円＋税，ISBN:4-7530-1737-0）〔和書（2F），528||Ta 84, 0000314596〕〔シラバス環境（3F），528||Ta 84, 0000265145〕
→改訂版あり（2010年7月，ISBN:978-4-7530-1753-9）〔所蔵なし〕
- [6] 『第3版 コンパクト建築設計資料集成』（日本建築学会編，丸善，2005年3月，4,800円＋税，ISBN:4-621-07509-8）〔シラバス環境（3F），525.1||N 77, 0000295473〕
- [7] 『住宅のパッシブクーリング ～自然を活かした涼しい住まいづくり～』（浦野良美編著，森北出版，1991年8月，3,800円＋税，ISBN:4-627-57030-9）〔和書（2F），527.1||U 84, 0000254071〕〔書庫（4F），527.1||U 84, 0000064602〕
- [8] 『ソーラー建築設計ガイドブック』（日本建築学会編，彰国社，2001年9月，2,600円＋税，ISBN:4-395-00623-X）〔和書（2F），528.2||N 77, 0000295466〕
- [9] 『ソーラー建築設計データブック』（日本建築学会編，オーム社，2004年10月，3,800円＋

- 税, ISBN: 4-274-10358-7) [和書 (2F), 528.2||N 77, 0000293060]
- [10] 『エコハウスの設計』(エコハウス研究会編, 井上牧・柿沼整三・小日向茂幸・齋田英次・佐川旭・高橋元著, オーム社, 2004年6月, 3,300円+税, ISBN: 4-274-10354-4) [和書 (2F), 527.1||E 44, 0000293065]
- [11] 『ソーラーアーキテクチュア・デザインブック』(日本建築学会編, 彰国社, 2007年2月, 3,200円+税, ISBN: 4-395-00801-8) [和書 (2F), 528.2||N 77, 0000316157]
- [12] 『日本建築学会叢書4 省エネ住宅とスマートライフでストップ地球温暖化』(日本建築学会編, 日本建築学会, 2006年10月, 1,700円+税, ISBN: 4-8189-4702-4) [和書 (2F), 518.8||N 77||4, 0000310927]
- [13] 『建築/都市グローバル・ドキュメント2000 サステイナブル建築最前線』(岩村和夫監修, 日本建築家協会+ビオシティ編, ビオシティ, 2000年6月, 3,300円+税, ISBN: 4-903486-75-3) [和書 (2F), 520.4||I 94, 0000247674]
- [14] 『サステナブル生命建築』(村上周三・北川良和監著, 共立出版, 2006年2月, 3,400円+税, ISBN: 4-320-07694-X) [和書 (2F), 520||Mu 43, 0000316202] [書庫 (4F), 520||Mu 43, 0000328260]
- [15] 『シリーズ地球環境建築・専門編2 資源・エネルギーと建築』(日本建築学会編, 彰国社, 2004年11月, 4,600円+税, ISBN: 4-395-22143-2) [和書 (2F), 520||N 77, 0000295448] [書庫 (4F), 520||N 77, 0000302300]
- [16] 『見る・使う・学ぶ 環境建築』(日本建築学会編, オーム社, 2011年5月, 2,800円+税, ISBN: 978-4274-21031-0) [和書 (2F), 520||N 77, 0000350311]
- [17] 『エコハウスのウソ』(前真之, 日経BP社, 2015年12月, 2,300円+税, ISBN: 978-4-8222-0053-4) [和書 (2F), 527||Ma 26, 0000371125]

また、その他の参考文献は、毎回配布する予定の資料に載せる予定です。学術情報メディアセンター図書館の所蔵情報も載せる予定ですので、できるだけ多くの文献に目を通すようにして下さい。

3. 成績の評価

- ・出席点とレポートを総合して、評価します。定期試験は行いません。

4. 配付資料

・講義で配布する資料などは、できるだけ毎回下記のホームページにアップロードしておくので、必要な人や欠席した人は、各自でダウンロードしてください。ただし、論文などは含まれていません。

<http://www.pu-kumamoto.ac.jp/~m-tsuji/kougi.html/passive.html/passivecontrol.html>

5. 担当者

担当者の連絡先などは、以下の通りです。

教授・辻原万規彦

部屋：環境共生学部西棟（旧棟）4階南西角

電話：096-321-6706, もしくは 096-383-2929（内線 492）

e-mail: m-tsuji@pu-kumamoto.ac.jp

研究室助手・岡本孝美

部屋：環境共生学部西棟（旧棟）3階南西角・田中研究室／4階中央・岡本助手室

電話：096-383-2929（内線 482（助手室）／内線 475（田中研究室））

e-mail: okamoto@pu-kumamoto.ac.jp

6. 研究や論文執筆のためのヒント

・研究生活全般

- [1] 『はじめての研究生活マニュアル-解消します！理系大学生の疑問と不安-』（西澤幹雄，化学同人，2015年4月，1,200円＋税，ISBN: 978-4-7598-1597-9）〔和書（2F），407||N 87, 0000366478〕
- [2] 『研究計画書デザイン 大学院入試から修士論文完成まで』（細川英雄，東京図書，2006年2月，2,600円＋税，ISBN: 4-489-00724-8）〔和書（2F），377.15||H 94, 0000301114〕
→増補改訂版あり（2015年10月，ISBN: 978-4-489-02221-0）〔和書（2F），377.15||H 94, 0000369169〕
- [3] 『ブルーバックス B-1709 院生・ポスドクのための 研究人生サバイバルガイド 「博士余り」時代を生き抜く処方箋』（菊地俊郎，講談社，2010年12月，820円＋税，ISBN: 978-4-06-257709-0）〔和書（2F），407||Ki 24, 0000350337〕
- [4] 『ブルーバックス B-1951 研究者としてうまくやっていくには 組織の力を研究に活かす』

（長谷川修司，講談社，2015年12月，900円＋税，ISBN：978-4-06-257951-3）〔和書（2F），407||H 36, 0000371000〕

[5] 『実験室の幸福論 悩み多き大学院生への助言』（落合洋文，ナカニシヤ出版，2005年12月，2,200円＋税，ISBN：4-88848-995-5）〔和書（2F），407||0 15, 0000309650〕

[6] 『ちくま学芸文庫ト-11-1 新版 文科系必修研究生活術』（東郷雄二，筑摩書房，2009年4月，950円＋税，ISBN：978-4-480-09205-2）〔シラバス文学（3F），080||C 44||ト-11-1, 0000349566〕

・研究方法（主として文科系の研究方法）

[7] 『人間科学 研究法ハンドブック』（高橋順一・渡辺文夫・大淵憲一編著，ナカニシヤ出版，1998年11月，2,800円＋税，ISBN：4-88848-438-4）〔和書（2F），002.7||Ta 33, 0000292539〕
→第2版あり（2011年11月，2,800円＋税，ISBN：978-4-7795-0419-8）〔和書（2F），002.7||Ta 33, 0000348906〕

[8] 『実践的研究のすすめ 人間科学のリアリティ』（小泉潤二・志水宏吉編，有斐閣，2007年7月，2,400円＋税，ISBN：978-4-641-17332-3）〔和書（2F），002.7||Ko 38, 0000309757〕

[9] 『異文化の学びかた・描きかた なぜ，どのように研究するのか』（佐原則也・箭内匡・芹澤知広，世界思想社，2003年5月，1,800円＋税，ISBN：4-7907-0906-X）〔和書（2F），389.07||Su 58, 0000295104〕

[10] 『史料学入門』（東京大学教養学部歴史学会編，岩波書店，2006年5月，2,400円＋税，ISBN：4-00-028043-0）〔和書（2F），201||To 46, 0000325080〕

[11] 『質的調査の方法 都市・文化・メディアの感じ方』（工藤保則・寺岡伸悟・宮垣元編，法律文化社，2010年2月，2,400円＋税，ISBN：978-4-589-03223-2）〔和書（2F），361.9||Ku 17, 0000340375〕

→第2版あり（2016年12月，2,600円＋税，ISBN：978-4-589-03805-0）〔所蔵なし〕

[12] 『実践社会調査入門 今すぐ調査を始めたい人へ』（玉野和志，世界思想社，2008年4月，2,000円＋税，ISBN：978-4-7907-1321-0）〔和書（2F），361.9||Ta 78, 0000343725〕

[13] 『入門・社会調査法 2ステップで基礎から学ぶ』（轟亮・杉野勇編，法律文化社，2010年4月，2,500円＋税，ISBN：978-4-589-03257-7）〔和書（2F），361.9||To 18, 0000333495〕
→第2版あり（2013年4月，ISBN：978-4-589-03489-2）〔和書（2F），361.9||To 18, 0000357031〕

→第3版もあり（2017年3月，ISBN：978-4-589-03817-3）〔所蔵なし〕

・フィールドワーク

- [14] 『実測術 サーベイで都市を読む・建築を学ぶ』（陣内秀信・中山繁信編著，学芸出版社，2001年6月，2,400円＋税，ISBN:4-7615-2265-8）〔和書（2F），518.8||J 52, 0000250310〕
〔書庫（4F），518.8||J 52, 0000249140〕
- [15] 『都市/建築フィールドワーク・メソッド』（田島則行・久野紀光・納村信之編，INAX出版，2002年7月，1,800円＋税，ISBN:4-87275-110-8）〔和書（2F），518.8||Ta 99, 0000275608〕
- [16] 『湖上の家，土中の家 世界の住まい環境を測る』（益子義弘＋東京芸術大学益子研究室，農山漁村文化協会，2006年10月，2,667円＋税，ISBN:4-540-04080-4）〔和書（2F），383.9||Ma 67, 0000310775〕〔書庫（4F），383.9||Ma 67, 0000307804〕
- [17] 『地域分析調査の基礎』（吉岡茂・千歳壽一，古今書院，2006年12月，2,800円＋税，ISBN:4-7722-5111-1）〔和書（2F），290.1||Y 92, 0000324901〕
- [18] 『地域を調べ 地域に学ぶ- 持続可能な地域社会をめざして- 』（和田明子・浅野俊雄・内海達哉・大野新・笹川耕太郎・福田行高編，古今書院，2006年9月，3,800円＋税，ISBN:4-7722-5109-X）〔和書（2F），290.7||W 12, 0000324902〕
- [19] 『地域研究から自分学へ』（高谷好一，京都大学学術出版会，2006年2月，1,500円＋税，ISBN:4-87698-808-0）〔和書（2F），361.7||Ta 56, 0000301230, 0000324903〕
- [20] 『京大式フィールドワーク入門』（京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究科・京都大学東南アジア研究所編，NTT出版，2006年6月，1,900円＋税，ISBN:4-7571-4137-8）〔和書（2F），361.9||Ky 6, 0000312603〕

・論文の書き方

- [21] 『これから論文を書く若者のために』（酒井聡樹，共立出版，2002年5月，2,500円＋税，ISBN:4-320-00564-3）〔書庫（4F），816.5||Sa 29, 0000260942, 0000280710〕
→大改訂増補版あり（2006年4月，2,600円＋税，ISBN:4-320-00571-6）〔和書（3F），816.5||Sa 29, 0000307666〕
→究極の大改訂版あり（2015年4月，2,700円＋税，ISBN:978-4-320-00595-2）〔就活・レポート（1F），816.5||Sa 29, 0000366828〕
- [22] 『これからレポート・卒論を書く若者のために』（酒井聡樹，共立出版，2007年5月，1,800円＋税，ISBN:978-4-320-00574-7）〔和書（3F），816.5||Sa 29, 0000309758〕
- [23] 『これから学会発表する若者のために ポスターと口頭のプレゼン技術』（酒井聡樹，共立出版，2008年11月，2,700円＋税，ISBN:978-4-320-00579-2）〔和書（2F），002.7||Sa 29, 0000320401〕

・論文と著作権

[24] 『新訂1版 学術論文のための著作権 Q&A 著作権法に則った「論文作法」』（宮田昇，東海大学出版会，2005年8月，1,400円＋税，ISBN：4-486-01695-5）〔就活・レポート（1F），816.5||Mi 84, 0000301071〕

→新訂2版あり（2008年2月，ISBN：978-4-486-01782-0）〔所蔵なし〕

[25] 『大学生と著作権』（神谷信行，ナカニシヤ出版，2006年7月，1,500円＋税，ISBN：4-7795-0079-6）〔和書（2F），021.2||Ka 39, 0000302127〕

[26] 『建築の著作権入門』（大森文彦，大成出版社，2006年6月，1,800円＋税，ISBN：4-8028-9271-3）〔和書（2F），021.2||0 63, 0000324877〕

・研究不正

[27] 『中公新書 2373 研究不正 科学者の捏造，改竄，盗用』（黒木登志夫，中央公論新社，2016年4月，880円＋税，ISBN：978-4-12-102373-5）〔和書（2F），021.2||0 63, 0000324877〕

・文献や資料の探し方

[28] 『建築技術選書・特装版 建築・住宅・都市・土木 情報アクセスブック 第二版』（菊岡俱也，学芸出版社，1994年4月，4,500円＋税，ISBN：4-7615-3039-1）〔和書（2F），510.3||Ki 29, 0000236939〕〔書庫（4F），510.3||Ki 29, 0000222060〕

・ホームページ上の情報

▽卒業論文ポータルサイト

<http://www.mycon10ts.com/top.htm>

▽卒論・修論の書き方のいろは

http://earthresources.sakura.ne.jp/er/Etc_R_R_Z2.html

→上記の情報の利用については，自分で考えて判断して下さい。

→→さらに様々な情報があるので，自分で検索してみてください。